

泥沼から抜け出せず… 降格圏へ転落

駒澤大学2-4専修大学

敗戦後、試合を振り返り話合う
駒大 (撮影：佐藤 亮)

10月15日 11:30 千葉県総合スポーツセンター東総運動場

駒大 2 (2-0)
(11位) (0-4) 4 専修大 (3位)

得点者 (アシスト)

[駒]14分小牧(板倉)
[駒]18分山本(小牧)

[専]59分栗山(町田)
[専]67分栗山(下田)
[専]72分栗山(下田)
[専]85分鈴木(東)

KOMAZAWA

GK② 檜山昇吾(2)
DF② 砂川太志(4)
DF⑬ 三澤祥馬(3)
DF④ 林堂 真(4)
DF⑥ 濱田 宙(4)
MF⑩ 板倉直紀(1)
(87分)⑬ 磯部裕基(1)
MF⑦ 碓井鉄平(2)
MF⑧ 奥村 情(3)
MF⑫ 山本大貴(2)
FW⑩ 大園祥太(4)
(78分)⑭ 畦地健太(2)
FW⑨ 小牧成亘(1)
(77分)⑮ 矢野裕貴(4)

S U B

GK① 松浦和己(4)
DF⑯ 大木 暁(1)
MF⑰ 江川昇吾(4)
FW⑱ 渡邊 諒(4)

MANAGER

秋田浩一

SENSYUU

GK① 朴 泰希(4)
DF⑯ 北爪健吾(1)
DF⑮ 栗山直樹(3)
DF③ 鈴木雄也(3)
DF② 松本陽介(4)
MF⑥ 庄司悦大(4)
(27分)⑯ 東 大樹(1)
MF⑭ 下田北斗(2)
MF⑩ 町田也真人(4)
FW⑭ 仲川輝人(1)
(90+2分)⑬ 石井佑季(4)
FW⑨ 稲葉圭吾(2)
(55分)⑬ 鈴木勇二(1)
FW⑦ 長澤和輝(2)

S U B

GK⑯ 奥山 陸(2)
DF⑱ 玉田道歩(2)
DF⑰ 館坂信也(1)
MF⑧ 星野有亮(1)

MANAGER

風間八宏

[シュート]11:8 [GK]12:14 [CK]11:5 [直接FK]14:13

[間接FK]3:5 [主審]牛尾真一郎 [観衆]約150人 [天候]雨 [風]強風

警告(C)/退場(S)

該当者なし

※データの左側が駒大

勝ち点掘めず… ついに降格圏へ転落

強風と雨に見舞われ、難しいコンディションを強いられて行われた専修大戦。好調を維持する専大を相手に勝利し、悪い流れを払しょくしたい駒大だったが、思い続かず、またも逆転からの敗戦となった。

風向きを考え、前半風上に布陣を構えた駒大。この選択が功を制し、試合開始直後から得意の縦に早いサッカーが機能する。開始5分の山本のシュートで攻撃への口火を切ると、試合が動いたのは14分。裏からのパスに抜け出した板倉のパスに、この日リーグ戦初先発を果たした小牧が合わせ先制。これで勢い付いた駒大は、わずか4分後にも、小牧のパスに山本が右足を伸ばし軌道を変えると追加点を挙げ二点差に。その後も、相手のパスサッカーを上手く封じこみ良いリズムで攻め立てると、28分には絶好の位置でFKを獲得。林堂の放ったシュートは、得点こそなかったが会場を味方につけた。試合後、秋田浩一監督が「前半は風の影響もあったが攻めることが出来た」と振り返ったように、前半の試合運びに関しては順調といえるものだった。

後半、陣地が変わり風下になると流れは一転。前線へのボールが繋がらなくなっていくと、サイドに展開する専大の本来のパスサッカーが、徐々に姿を現しはじめた。我慢の時間帯が続くと迎えた59分、相手右CKから失点。一点のリードを保ちながらも、専大の猛攻は止まらず。試合の主導権を奪われると、67、72分にも続けて、一失点目の同サイドのCKからゴールネットを揺らされ逆転を許してしまう。

その後は、試合の流れを変えようと、今季リーグ戦初出場となった矢野、畦地を続けて投入。フレッシュな選手にボールを集め、攻撃の糸口を探ると、投入からわずか5分後の82分、「点を取ろうと思ってピッチに入った」畦地が左サイドを駆け上がる。「山本が見えて、ファーサイドに強く蹴った」と、試合後に語ったグランダーのパスは、アシストこそならなかったが、良いリズムを作り出した。勢いのまま、同点に追いつこうと前傾姿勢になった直後の84分、一瞬の隙から追加点を挙げられその差は二点差に。試合終了間際には磯部を投入するも、点差を縮められず試合終了。

「頑張れる選手を使っていくしかない」と主将の林堂が口にしたように、気持ちの面から相手を上回らなければいけない。(佐藤 亮)